令和三年度中学校第一学年国語正答表

令和３年５月

大問	中間	小間	通し番号	正答	備考
1	一	①	1	設（ける）	○とめ・はね・はらい等の誤りは許容。
		②	2	対象	
		③	3	はぐく（もう）	
		④	4	さいしゅう	
	二		5	2	
	三		6	ウ	
2			7	何人かいる（。だから、）これまでの	○完答。
3	一		8	2 ---- 4	○完答。
	二		9	読書という	
4	一		10	1	
	二		11	例（窓をあけた作者は、光った風、遠い子どものこえ、こはくのような空が）こちらへ動いてくるようにとらえ、それに対して喜びを感じ（、この詩をつくったのではないかと考えました。）（二十七字）	○【話し合いの一部】の内容を根拠にしていること。 ○「風、こえ、空」に対してどのように捉え、それに対してどのように感じたかが書けていること。
5	一		12	3	
	二		13	例話のまとまりと順序を意識して話したり、相手の反応を見て話したりすることができるよさがある（。）（四十四字）	○「話のまとまりと順序を意識する」「相手の反応を見る」の二点が書けていること。
	三		14	（せんすのみりょくは、）能や落語などでいろいろなものに見立てたり、気持ちを表現できたりすることで、見る側に想像力を起こさせる（ことができるところです。このようにせんすは、日本の伝統芸能になくてはならないものになっています。）（五十字）	○「いろいろなものに見立てたり気持ちを表現できたりすること」と、それにより「見る側に想像力を起こさせる」といった内容が書けていること。
6	一		15	例（そのためレンコンは、）地上に出ている葉や花まで管でつながっていて、その管を通して空気を取り入れています（。）（四十字） 例（そのためレンコンは、）空気の通気こうの役割をしている葉や花の管を通じて空気を取り入れています（。）（三十五字）	○「ハスの葉や花から空気を取り入れている」ことが書けていること。
	二		16	イ	○「生き物の機能が人間の生活に応用できる可能性がある」という内容が書けていること。
	三		17	例（そして、これらの自然の生き物の機能には、）人間の生活に応用できる可能性がもっとある（のではないかと考えました。）（二十字）	